# 海の中…いかにいます？

## ソデイカの生態探る

### 発信機で移動調査　資源保護を模索

数多くの謎が残るソデイカ（赤イカ）の生態を探るため、近畿大学と大学院の学生五人が、香美町香住区を訪れている。県但馬水産技術センターの調査船に乗り込み、個体に取り付けた超音波発信機で移動範囲を調べるのが目的だ。（井原尚基）

水揚げされたソデイカ（赤イカ）

ソデイカは成長すると胴長約八〇㌢、体重約二〇㌔に達し、すしねたなどとして使われる。県内での水揚げ量は年間三百㌧で、沖縄に次いで全国二位の実績を誇っている。

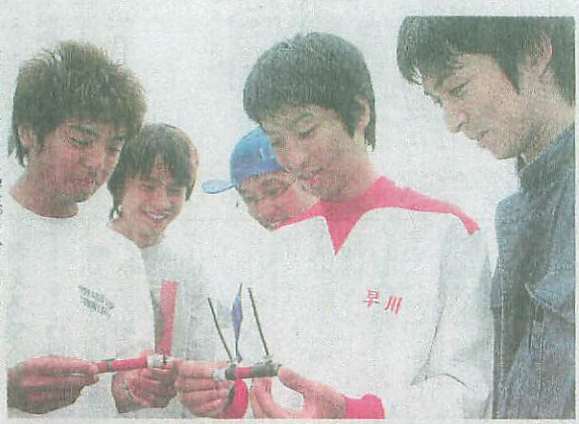
しかし、ふ化する場所が分からないなど生態に未解明の部分が残り、資源保護の方法を模索するため、同技術センターが、同大学部水産学科の四年生四人＝学部生のうち二人は、卒業論文のテーマにソデイカを選んだ。

五人は、同技術センターの調査船「たじま」（一四〇㌧、尾崎爲雄船長）に乗り込み、沖合約二十㌔の日本海で、仕掛けにかかったソデイカを生きたまま入手。ヒレの部分に水中での重さ十五㌘程度の発信機を取り付けて海に戻し、個体の位置を確認しながら行方を追う計画だ。調査区域が漁場と重なるため、漁船の協力や理解も得る。

昨年までの研究で、体重が一四―一五㌔まで育った個体は日中、水深七〇―二〇〇㍍付近にもぐり、夜になると水面付近まで浮上することが判明。今年は体重七―八㌔の個体に的を絞り、五日から七日ごろまで、船内で寝泊まりしながら調査する。

卒業論文に調査データを使う同学科四年の早川源さん（二）は「ソデイカの動きの規則性を確かめ、地元の漁業に貢献したい」と話している。

### 香住沖で近大の学生と院生



発信機を手にする学生。ソデイカに取り付け、調査船で追う＝香美町香住区の香住漁港東港

但馬

■但馬総局
〒668-0024
豊岡市寿町7-23
TEL:0796-22-3121
FAX:0796-22-2516
e-mail:tajima@kobe-np.co.jp

■養父支局
〒667-0021　養父市八鹿町八鹿901-1
TEL:079-662-2731　FAX:079-662-2738

■香住支局
〒669-6546　香美町香住区七日市397
TEL:0796-36-0162　FAX:0796-36-4661

■浜坂支局
〒669-6702　新温泉町浜坂462
TEL:0796-82-1171　FAX:0796-82-5220

■朝来支局
〒669-5203　朝来市和田山町寺谷710-1
TEL:079-672-2067　FAX:079-672-2080

■出石通信部
〒668-0204　豊岡市出石町宮内1581
TEL:0796-52-3935

火事や事故の速報、写真提供、身近な話題、生活情報を上記へ気軽にご連絡ください。

"酢のもの料理で健康を食べよう"
㈱トキワ
香美町香住区三谷735
☎(0796)36-0127
FAX 0120-360127

### 放鳥されたコウノトリの動き（5日）

①Ｊ２３２（7歳、雄）
公園東ゾーンを中心に過ごす
②Ｊ２９６（4歳、雌）
公園東ゾーンを中心に過ごす
③Ｊ３６２（2歳、雌）
公園西公開ケージを中心に過ごす。ケージ

### のぞき見疑惑　男性従業員辞職申し出

城崎温泉

城崎温泉の外湯の男性従業員が女性浴場をのぞき見したとして軽犯罪法

### 朝来消防本部　さまざまな症例想定　救急隊の訓練

朝来市消防本部は五日、各種症例を想定した救急隊の訓練と、医師による研修会を実施した。但馬の他の消防本部の救急救命士も見学する中、九月の「救急強化月間」で積み重ねた訓練の成果を披露した。

同本部では、救急隊の出動件数は今年すでに千件を超え、過去最多のペースで増え続けている。訓練では、男子中学生が川でおぼれた▽四十歳男性が高さ約六㍍の電柱から落下し、骨盤骨折などの外傷▽五十歳男性がハーフマラソンを走った